



ひらかわ 市議会だより

第15号

平成21年9月15日

発行

平成21年
6月定例会

平成21年度一般会計補正予算 平川市緊急経済対策を可決!!

目次

- ◆平成21年第2回(6月)定例会(概要)……………2
(審議した議案)……………3～5
- ◆議決一覧表(第2回定例会、第3回・第4回臨時会)…6
- ◆市政に関する一般質問より(12議員)……………7～13
- ◆平成21年第3回(7月)臨時会(緊急経済対策)……………14
- ◆第4回(8月)臨時会(常任委員等の改選)……………15
- ◆【シリーズ】もっと知って議会Gikai [Vol. 4]……………16
- ◆視察研修報告(兵庫県・北海道)……………17～19
- ◆所管事務調査報告(総務企画常任委員会)……………19
- ◆議会の動き・編集室から……………20

ほくげん み はす はな
北限に観る蓮の花まつり：8月1日～9日開催。猿賀神社境内の「鏡ヶ池」に半自生する「和蓮」は、北限の群生地と言われており、7月中旬から8月下旬にかけて何千という花が咲きほこります。



(原画 工藤哲彦)

発行：青森県平川市議会
編集：平川市議会広報特別委員会
〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6
TEL (0172)44-1111 FAX (0172)44-6988
メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

【お知らせ】「市議会だより」はインターネットでもご覧になることができます。

平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> → 左側にあるメニュー一覧から「議会情報」→「市議会だより」からご覧下さい。

一般会計予算総額 153億792万7千円に

第2回(6月) 定例会



平成21年第2回議会定例会は、6月11日から19日までの9日間開催されました。

初日、外川市長より全国市議会議長会表彰者6名にお祝いと、なお一層の活躍を期待する言葉が述べられた後、「農作物の生育状況は、平年より早く進んでおり喜ばしい状況で、実りの大きい収穫の秋となることを願う。地域経済が大変厳しい現状にあり、国の経済対策が打ち出され具体的に動き出すようである。一日も早く経済が好転することを祈念する。」と、あいさつがあり、議案の提案理由の総括説明を受けました。

本定例会では、人事案件1件について原案どおり同意され、条例改正案1件、辺地総合整備計画案1件、財産の取得について1件、一般会計を含む各会計補正予算案7件の、合わせて8件が原案可決となりました。請願1件は採択され、意見書が提出されました。

初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を6月19日までの9日間と定め、諸報告が行われました。

外川市長のあいさつと提案理由の総括説明の後、人事案件を除く議案と請願書が、総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会にそれぞれ付託となりました。

また、平成20年一般会計、後期高齢者医療費特別会計、学校給食センター特別会計の各会計の繰越明許費繰越計算書3件が報告されました。

5日目には常任委員会を開催し、6日目からは2日間にわたり12人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。

最終日には、平成21年度一般会計補正予算案、国民健康保険特別会計補正予算案、国民健康保険診療施設事業会計補正予算案、水道事業会計補正予算案の4件、条例改正案等の議案は、原案可決とな



りました。

第1回定例会で陳情書が配布され、今定例会に請願書として提出された「国外で作製された歯科医療用補てつ物(入れ歯等)の取り扱いに関する意見書採択を求める請願(書)」は採択され、議員提出議案の意見書(案)の提出については、原案どおり可決されました。

追加提案された反訴の提起について1件と、議員の派遣について2件の議案について、原案可決されました。

【会期日程】

6月11日(木)	6月12日(金)	6月13日(土)	6月14日(日)	6月15日(月)	6月16日(火)	6月17日(水)	6月18日(木)	6月19日(金)
本会議	(議案熟考のため休会)	(休会)	(休会)	常任委員会	一般質問	一般質問	(議事整理のため休会)	本会議

人事案件

平川市教育委員会委員に

いま
俊彦氏

を任命

平川市教育委員会委員の定数が1名増となったため、
今井俊彦氏を新たに任命することに同意しました。

住所 平川市町居山元73番地1
氏名 今井 俊彦

生年月日 昭和18年5月9日生

審議した議案



北限に観る運の花まつりのアトラクションで、和太鼓演奏を披露してくれた日の出保育園の子供たち

条例改正案

特例期間1年延長で企業誘致へ

●平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案(平成21年4月1日施行)

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第20条の地方公共団体等を定める省令の改正に伴い、承認企業立地計画に従って設置される施設における特例の適用期限を「平成21年3月31日」から「平成23年3月31日」までに延長する。

【委員会質疑】

問 この計画の承認状況について。

答 碓ヶ関地域に1社ある。

その他

●葛川辺地総合整備計画の策定について
辺地に係る公共的施設の総合整備を行う。
葛川診療所医療機器更

新事業緊急経済対策として、企業の経営の安定及び雇用の維持を図るため、土地を減額して貸し付ける。

【委員会質疑】

問 この予算の交付税算入率はどのくらいになるのか。

答 予算の8割が地方交付税に算入されてくる。

●財産の取得について

取得する財産

・小型動力ポンプ積載車6台

契約の相手方

・青森市栄町1丁目12番1号

有限会社丸栄消機

代表取締役 鳴海定俊

取得価格

3129万円

【委員会質疑】

問 全て同じものを購入するのか。

答 積載するポンプは全て同じだが、シャーシーについては普通自動車、軽自動車、軽自動車が5台ある。



●反訴の提起について
消防自動車交通事故に
関し、損害賠償請求の反訴を提起する。

被告

大鰐町 高橋晃子

内容

平成20年7月7日発生した消防自動車事故に
関し、被告は損害賠償請求事件として青森地方裁判所弘前支部に提訴したが、

本件事故は被告の全面的過失により発生したものであり、市所有の消防自動車に損害を受けた。
よって、市は消防自動車修理費用及び弁護士費用並びに遅延損害金の支払い、訴訟費用の負担並びに仮執行の宣言を求め、本訴を提起する。

補正予算関係

一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ4億2792万7000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ153億792万7000円とする。

今回の補正の主な内容は、歳入では農業振興施設の県補助金の交付決定により5852万5000円の増、財政調整基金繰入金3億1977万9000円を追加し、原子燃料サイクル事業推進特別対策事業助成金を4288万円とし、2町会のコミュニティ推進備品助

成のために、自治総合センターからの助成金500万円を計上したことなどである。
歳出については、地域コミュニティ活動促進のために1551万8000円、次期電算システム構築事業のため3億円、妊婦健康診査委託料1372万3000円、各町会からの要望に基づきごみ集積容器助成に1040万5000円、高品質りんご安定出荷体制強化事業助成金3890万円を措置したことなどである。

【委員会質疑】

問 電算システム構築委託料で、新システムの稼働時期について。

答 平成23年1月の稼働を予定している。

問 夏秋いちご日本一飛躍産地育成事業補助金増額の理由について。

答 使用資材の高騰によるものである。

問 高品質りんご安定出荷体制強化事業費補助金の実施箇所について。

答 尾上地域に光ファイバーを2レーン入れる予定である。

問 市有林間伐材売却収入の内容について。

答 碓ヶ関地域の大落前市有林の間伐材の売り払いに伴う収入である。

問 原子燃料サイクル事業推進特別対策事業助成金の使要範囲について。

答 現在ある物の維持管理には使えないが、地域振興のための新規事業であれば、大概のものに使える。

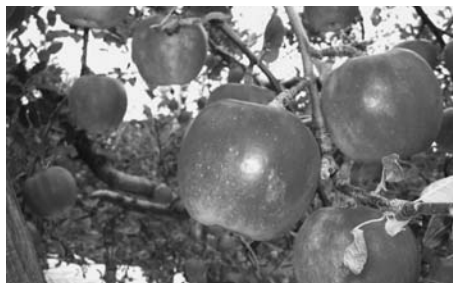
問 さるか荘改修工事の内容について。

答 公衆浴場の環境衛生検査を行った結果、弘前保健所から施設の一部を改修するよう指示があり、

それに伴う改修費用である。

問 観光費の水中ポンプ保守点検委託料の内容について。

答 さるか荘に設置しているポンプの保守点検。



【国民健康保険特別会計】

予算の総額に、歳入歳出それぞれ240万円を追加し、総額41億3530万2000円とする。

主な内容は、歳入では国庫支出金240万円を追加し、歳出では、老人保健拠出金1047万円、諸支出金240万円を追加し、予備費1047万円を減額する。

【国民健康保険診療施設事業診療所特別会計】

今回は、歳入予算のみの補正で、予算総額は、同額の3億8915万3000円である。

補正の主な内容は、医療機器の更新事業が補助金が見込めることが判明したため、当初市債で考えていた240万円減額し、繰入金金を240万円追加している。

【委員会質疑】

問 レントゲンの新しい機種を導入することにより、設備的、構造的に被曝の問題はないか。

答 現在使用しているものと同じ機種であり、被曝に関しても問題がない。



葛川診療所のレントゲンを更新します。



【水道事業会計】

小和森地区の消火栓の移動、設置に伴い、収益的収入の受託工事収益に89万6000円を追加し、収益的支出の受託工事費に89万6000円を追加するものである。

【委員会質疑】

問 敷地内にある消化栓の移動、設置については設置場所、距離などから工事費が高いと思うが、その理由について。

答 距離は約7メートルだが、付近の100ミリへの配水管の移設がえであり、自販機の設定や、コンクリート舗装をしているため、機械掘りが少なく、ほとんどが手作業になるため、このような見積額となった。

【請願書】

(採択)

● 国外で作製された歯科医療用補てつ物(入れ歯等)の取り扱いに関する意見書採択を求める請願(書)

青森県保険医協会

【議員提出議案】

◆ 国外で作製された歯科医療用補てつ物等の取り扱いに関する意見書(案)の提出について

へ内容▽国民の健康を守る上で大切な口腔医療現場において近年国外で作製された歯科医療用補てつ物等が使用されているにもかかわらず、歯科材料の検査も受けず雑貨物扱いで輸入され、患者に供されている事例が増加している。

患者が安心して歯科医療を受けることができるように、歯科医療用補てつ物等の輸入取り扱いに関する法整備を行うと

もに、品質や安全の確保のため、必要な措置を講じることを強く要望し、意見書を提出する。



常に口の中にあるので安全が強く求められるべきである。

【要望書】

(配布)

1. 平川市建設協会
公共事業の出来るだけの早期発注をお願いします。
2. 平成21年度補正予算内での公共事業比率の増額をお願い致します。

第3回臨時会

平川市緊急経済対策

一般会計予算総額に15億円追加!!

●平川市手数料条例の一部を改正する条例案（公布の日から施行する）
火薬類の消費の許可に関する事務の権限移譲に伴い、煙火消費許可申請手数料1件につき7900円を追加する。

【本会議質疑】
問 金額は、県と同じであるか。
答 同じである。

●財産の取得について
取得する財産
・市内小・中学校学習支援システム一式
契約の相手方
・青森市新町2丁目6番地29号
株式会社
ビジネスサービス
代表取締役社長
小田桐健藏
取得価格
3087万円

●一般会計補正予算案
歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ15億398万9000円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ168億1191万6000円とする。（内容については14ページ参照）



市役所裏に設置してある太陽光発電システム。今回の補正で、市内全小中学校に設置されます。

●下水道事業会計補正予算案
市道維持補修工事に伴い、収益的収入の他会計補助金639万5000円を追加し、収益的支出の管渠費に、87カ所のマンホールの高上げ修繕料639万5000円を追加するものである。

第4回臨時会

監査委員に
葛西 清仁議員
を選任

議会議員のうちから選出した平川市監査委員田中友彦氏が7月31日に辞職したため、後任に葛西清仁氏を選任することに同意しました。

住所 平川市本町北柳田11番地17
氏名 葛西 清仁
生年月日 昭和36年6月16日生

その他、任期満了に伴う常任委員会等の改選が行われ、その後組織会で委員長、副委員長の互選が行われました。（15ページ第4回臨時会参照）
任期は、平成23年7月31日までとなります。



全国市議会議長会より

表彰されました。



左から小田桐信勝議員、古川敏夫議員、福士恵美子議員、小野忠男議員、佐藤 雄議員、成田敏昭議員。

議長から伝達を受ける小田桐信勝議員

市制後3年経過していることが必要で、町村時代の在職期間は2分の1で計算され、市議会議員の在職期間と合算されます。よって、今回の6名が、合併後の市議会議長会の被表彰者となります。

5月27日、日比谷公会堂において開催された第85回全国市議会議長会定期総会で表彰を受けました。
第2回定例会初日（6月12日）開会前に、小笠原議長から表彰状が伝達されました。（一）在職15年以上表彰は、小田桐信勝議員。在職10年以上表彰は古川敏夫議員、福士恵美子議員、小野忠男議員、佐藤 雄議員、成田敏昭議員です。
これからもう元気で、より一層の御活躍を期待します。おめでとうございます。

お知らせ

～平川市議会会派の動き～

7月17日に、小野忠男議員が親政会から退会しました。
7月31日に、親政会の役員変更がありました。（下記名簿参照）

【名簿】

役職名	旧役員名	新役員名
会長	今井 章也	小田桐 信勝
副会長	小田桐 信勝	古川 昭二
監事	葛西 清仁	齋藤 正明

8月5日に、小野忠男議員が正進会に入会しました。
8月19日に、佐藤 雄議員が親政会から退会しました。
現在の会派別人数（平成21年9月1日現在）

親政会	正進会	無会派
15名	5名	3名（うち政党所属2名）

平成21年第2回定例会

議決一覧表

議案番号	議案名	結 果	備 考	常任委員会付託先	結 果	備 考
【人事案件】						
67	平川市教育委員会委員の任命について	原案同意	全会一致	付託省略	—	—
【条例案・条例改正案】						
68	平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
【その他】						
69	葛川辺地総合整備計画の策定について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
70	財産の減額貸付けについて	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
75	反訴の提起について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
【補正予算案】						
71	平成21年度平川市一般会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
72	平成21年度平川市国民健康保険特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
73	平成21年度平川市国民健康保険診療施設事業診療所特別会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	教育民生	原案可決	全会一致
74	平成21年度平川市水道事業会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
【議員提出議案】						
1	国外で作製された歯科医療用補てつ物等の取り扱いに関する意見書（案）について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
【議員派遣】						
1	議員派遣について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
2	議員派遣について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
【請願】						
1	国外で作製された歯科医療用補てつ物（入れ歯等）の取り扱いに関する意見書採択を求める請願（書）	採 択	全会一致	教育民生	採 択	全会一致
【報告】						
3	平成20年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について					
4	平成20年度平川市後期高齢者医療特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について					
5	平成20年度平川市学校給食センター特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について					

平成21年第3回臨時会

議案番号	議案名	結 果	備 考	常任委員会付託先	結 果	備 考
【条例案・条例改正案】						
76	平川市手数料条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
【その他】						
77	財産の取得について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
【補正予算案】						
78	平成21年度平川市一般会計補正予算案（第2号）	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
79	平成21年度平川市下水道事業会計補正予算案（第1号）	原案可決	全会一致	付託省略	—	—

平成21年第4回臨時会

議案番号	議案名	結 果	備 考	常任委員会付託先	結 果	備 考
【人事案件】						
80	平川市監査委員の選任について	原案同意	全会一致	付託省略	—	—



平成21年第2回（6月）定例会 一般質問傍聴席

市政に関する一般質問より

●6月定例会では、16日（火）と17日（水）の2日間にわたり、12人の議員により一般質問が行われました。
 ●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載しております。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。議案の質疑とは別に通告が必要で、当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。

1. 古川 敏夫 議員

〔二括質問方式〕

1. 福祉行政（新型インフルエンザ）について
2. 地域活性化事業（プレミアム付商品券）について

2. 対馬 實 議員

〔二括質問方式〕

1. 経済危機対策（町会要望の実現）について
2. 教育行政（学習指導要領改訂）について

3. 大川 登 議員

〔二問一答方式〕

1. 水道料金について
2. プレミアム付商品券（販売方法と今後）について

4. 小野 長道 議員

〔二問一答方式〕

1. 自然の森について
2. 環境整備（金屋・南田中の側溝）について

5. 福士 恵美子 議員

〔二括質問方式〕

1. 平賀駅裏の環境について
2. 福祉環境（災害時発生時対策、健診）について
3. 役所関係の駐輪場について

6. 齋藤 律子 議員

〔二問一答方式〕

1. 介護保険制度について
2. 乳幼児の医療費について
3. 教育問題（高校生の授業料減免などの支援）について

7. 今井 章也 議員

〔二問一答方式〕

4. 環境問題（耕作放棄地など）について
5. 平川市最終処分場（尾上地域）について
1. 平川市の表彰条例等による表彰式について
2. 国の経済危機対策について
3. 市役所の行政組織の再編について

8. 工藤 竹雄 議員

〔二括質問方式〕

1. 多目的集会施設について
2. 平賀農村環境改善センターについて
3. 市営住宅管理条例について

9. 山口 昇 議員

〔二問一答方式〕

1. 遊休施設の利用について
2. 尾上総合支所分庁舎3階の活用について

10. 齋藤 剛 議員

〔二括質問方式〕

1. 福祉行政（就学前児童の医療費無料化）について
2. 教育問題（辺地校の現状と今後）について

11. 小野 敬子 議員

〔二括質問方式〕

1. 福祉行政（高齢者と介護）について

12. 齋藤 政子 議員

〔二括質問方式〕

1. 行政経費（公共施設の管理）の削減について

新型インフルエンザ発生に備え、平川市でも万全の体制を！

○新型インフルエンザ○プレミアム付商品券発行事業



古川 敏夫 議員

新型インフルエンザの対応と対策

古川 ①新型インフルエンザの国内感染拡大を踏まえ、各自自治体では、体制整備を進めているが、平川市ではどのような対策を講じているのか。②万が一発生した場合の対応は。③また、インフルエンザ用マスクはどのくらい確保しているのか。



写真はイメージです。

8月に国内初の死亡者が出てから、9月2日には市内でも中学校生徒の集団感染が発生し、学校閉鎖となった。他地域への感染拡大が懸念されることから、市組織を挙げての予防啓発に取り組むため、同日付けで平川市新型インフルエンザ対策本部を設置している。

市長 平成21年5月1

日に関係課による「新型インフルエンザ対策庁内連絡会議」を設置し、情報

の収集や対応について協議している。仮に発生した場合、学校、保育

所、福祉施設、診療所、社会教育施設等について

休校、閉鎖等、施設ごとの防止策を県の関係機関や保健所と連携を取りながら進めていく。

市民生活部長 当面は、万が一の発生に備えて、第1次対策分として480枚を、消防署と市役所で半分程度備蓄している。

プレミアム付商品券発行事業の今後の展望に

古川 平成19年度から3カ年にわたり実施しているプレミアム付商品券は、市内の購買意欲を促進し、消費拡大、商工業の活性化、地域経済振興を図ってきた。しかし依然として、商工業者を取り巻く環境は非常に厳しく、特に小売業、建設業は大変な状況である。プレミアム付商品券は、商工業者ばかりではなく、一般消費者、市民が恩恵を受ける事業である。市民の利益になることは、率先してやるべきではないかと思うが、市長の所見を伺う。

市長 今年度は、今回の補正を含めて500万円の予算措置をしている。来年度は、平成22年の4月に3商工会（平賀町商工会、尾上町商工会、碓ヶ関村商工会）が合併になるので、合併記念事業として考えてもいいのではないかなと思っています。

経済危機対策を積極的に活用し、町会要望の実現を！

○町会要望事項の実現○学習指導要領の改訂



對馬 實 議員

町会要望事項の実現に向けて

對馬 国の経済危機対策が示され、当市は5億2400万円の交付金となるが、先に提出されている町会の要望事項について、積極的に活用し取り組んでほしいと思うが、市長の考えを寄せ。

市長 町会から出ている

学習指導要領の改訂についての取り組み状況

對馬 ①小学校外国語活動の移行措置について時間数の関係は、②小学校担任教諭の英語免許状況と、ALT（外国語指導助手）の活用状況について。③今後の対応について。

教育長 移行期間中で先行実

要望事項は、市民に身近な要望事項であるため、第一にそれを考えていきたい。しかし、道路、水路等は設計を組まないとできない。単年度で全部消化するのは困難である。したがって、建設協会からの要望書も出ており、強く要望されているので、建設協会の力を借りながら実施したいと思っている。

施されている外国語活動は、平川市では18時間が1校、20時間が4校、30時間が2校、35時間が5校で平均28時間となっており、1年目としては各校が積極的に取り組んでいる。全国同様、当市もほとんどの先生は免許を持っていない。文部科学省の研修、県の研修等積極的にを行い、不安解消に努めている。ALTには小学校5、6年の学級に年間7時間程度訪問していただき、学級担任と協力して授業を進めるように工夫している。今年から小和森小学校が文部科学省の外国語活動実践研究事業の指定校となり、実践研究を積み重ねている。研究成果を市内の小学校教育と共有して、指導力を高めてもらうとともに中学校との円滑な連携を図ることにしたい。来年度からは全小学校に35時間の教育計画を立ててもらい、カムデンの中学生と、小学生の交流も考えている。

時代にあった水道料金体制の見直しを！

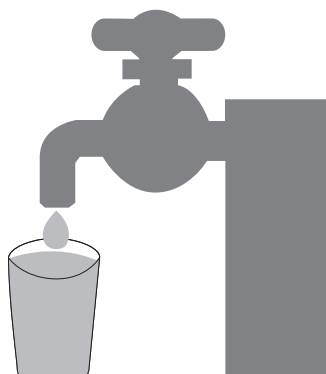
○水道料金○プレミアム付商品券



大川 登 議員

水道料金の見直しができないか

大川 現在の基本料金の現状と使用量について。市長 上下水道課で200件の抽出調査では単身世帯で月平均7・8立米、2人世帯の月平均11・9立米である。一般家庭は1世帯当たり2人で、月平均16・5立米である。大川 使用量10立米以下の世帯と5立米以下世帯はいくらか。



は3537戸40・5%。5立米以下は1882戸21・5%。大川 基本使用量以下が意外と多い。今は少人数世帯で、時代に合っていない。現在の料金体制を見直すべき。市長 市民が不利になるようなことであれば、水道部と協議しながら、見直ししなければならぬという判断になれば、水道審議会等で御検討願って解決をしていきたい。

プレミアム付商品券の前の販売検証は行ったか

大川 前回の販売について、不正が行われていなかったか。補助金を出し

ている以上は公益性、正当性、不正の有無について、適正な指導をする義務があり、その調査結果についてお知らせ願いたい。

経済部長 市内の消費拡大と地元商店街及び地域商工業の活性化を目的に実施されていると報告を受けている。不正については、3商工会に確認したところ、そのようなことは行われていないと聞いている。

大川 販売店に確認、調査しなければためである。店主の良識に頼るだけでは不甲斐ないが、販売に対して多く規制をかけることも賛成できない。最低限、登録店に対して不正防止の誓約書や同意書を添付させる考えは。経済部長 平成21年度の商品券発行事業の会議が行われた際、加盟店募集時には、文面に記載して啓発するということになったと聞いている。大川 フェアな販売を期待する。

自然的資源の活用、自然の森大池の整備を！

○「自然の森」の大池整備○側溝整備（金屋・南田中地区）



小野 長道 議員

自然の森の大池整備について

小野 平成7年4月にオープンした自然の森にある通称大池は、長年どろ上げをしていないため、池の底に落ち葉や枯れ枝が混じり腐敗し、ヘドロ状態になっており、どろ自体がにおいを発している。



池の半分以上を水運がおおい、水は濁っている。周りには柵もなく、自然な感じはするが、安全な感じはしない。

市民憲章「自然と環境を守り 大切にしよう美しいまちをつくります」とあるが、大池の整備を行う考えはないか。教育委員会事務局長 金屋町会に指定管理をしていただいているので、適正なキャンプ場の管理の中で、水関係のにおいても含めて監視していきたいと考えている。今のところ深くすることは是非もあり、危険防止等さまざまな面からも、町会と話し合いをしてみたいと考えている。基本的には自然な雰囲気、現在保たれていると考

えているので、しゅんせつ工事のことも含めて難しいというのが、教育委員会の考え方である。

金屋地区の側溝整備について

小野 昨年、片側に融雪溝が完成したが、その反対側の側溝は、少し雨が降ればあふれるところや、においがして環境が悪いところがある。旧家・庭園・蔵めぐりの観光コース、修学旅行、農業体験ホームステイ等で今年には1500人訪れるこの地区の側溝を、安全な可変側溝に整備する考えはないか。

市長 蔵観光は事業的にも、大変話題になっており、たくさんのお客が来ていることは事実であり、これからは来てもらいたい。できるだけ整備するように前向きに検討させるが、担当部では去年融雪溝を整備し、またすぐに側溝整備というところについては、他の地域とのバランスはどうなのかということもある。しかし、観光のためを含めて、対応しなければならぬと思っています。

平賀駅裏カントリーエレベーターと種子センターの早期移転を！

○平賀駅裏の環境○福祉環境(災害発生時・健康診断)○役所関係の駐輪場



福士 恵美子 議員

平賀駅裏のカントリーエレベーターと種子センターの早期移転新築

福士 ①カントリーエレベーターが稼動すると、地域住民は騒音や粉じんに悩まされる。農協組合員からも公害のない新しい方式のカントリーが必要であるとの声も聞く。古くなっている分、修繕費も毎年2000万円以上かかるとも言われている現状もあり、早期移転、



平賀駅の裏にあるJA津軽みらいのカントリーエレベーター。収穫の秋は喜ばしいが、騒音、粉じんの環境問題にもなっている。

は昭和56年に建設されたと言われている。農協でも計画はあるが、いつという年度は明確

新築についての考えを示せ。②種子センターも周囲の住民から騒音の苦情がでており、時間制限をしているとのこと、同様に移転新築が必要と思うが、見解を示せ。

市長 原則的には農協の問題であるが、地域の方々が環境問題で困っているというのには指摘されたとおりである。カントリー

は30年以上経過しており、建設費は25億円以上と予想されている。農協が事業主体となるが補助対象になるようである。しかし固定資産を取得する場合、自己資本比率の基準があり、基準を満たさないと新しい建物は建てられない。種子センター

災害発生時に地域で支える協力体制の対策

福士 地震や火事、台風等自然災害の多い日本である。地域で支えながら命を守る協力体制を築くには、どのような対策を考えているのか。

市民生活部長 昨年、災害時要援護者支援体制整備検討会議を設け3回会議を開催した。高齢者單身世帯、高齢者のみ世帯、身体障害者、精神障害者要介護3以上の方を対象とし、個人情報について配慮しながら検討してきた。地域の強力はきわめて重要なものと認識している。各町会や地域の役割を明確にしながら、行動計画が作成された際、説明会をしながら協力をあおぐという形で進めていきたい。

乳幼児医療費に平川市独自の助成をし、子育てしやすい平川市に！

○介護保険制度○乳幼児医療費○教育問題○農業問題○尾上地域最終処分場

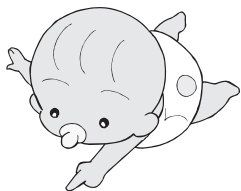


齋藤 律子 議員

介護保険の認定更新について平川市の現状

齋藤 認定の更新で現状の介護度より軽度と判定されるケースが現場から数多く報告されている。当市の現状はどうなっているか。

市長 従来の介護度と異なる場合、選択できることになっているので、要介護認定等の方法の見直しにかかわる経過措置で希望調書を提出いただき、本人の希望を確認しながら対応している。改正後の認定制度の検証が終わるまで選択できる。



乳幼児医療費給付事業

齋藤 ①償還払いの方式をとっているが、現物支給にできないか。②所得制限や保護者負担をなくし、無料対象年齢の引き上げができないか。

市長 医師の協力が必要であり、弘前の医師会に打診したところ、全市町村がそういう意向であれば可能であるが、そうでない場合は、処理上複雑さがあり難しいという回答であった。市内の医療機関も事務量がふえるので難しいとのこと、

医療機関の協力が得られないので困難である。現在の市財政では、これに答えることは困難である。少子化対策の医療費無料化については、国ももちろん大事なことであり、力を合わせて要請していきたい。

高校生の授業料減免や奨学金の緊急支援について

齋藤 親の収入がなくなると被害を受けるのが子供たち。授業料を滞納したために卒業証書がもらえなかった相談があった。高校は、今の時代義務教育化している。当市でも奨学金制度があるが、親の経済状況の悪化など、緊急な理由で学業の経済困難におちいった場合、授業料減免や奨学金の緊急支援を行う考えはないか。

教育委員会事務局局長 国でもいろいろな制度を検討しているようである。都道府県において基金を設置して運用するとか、少子化対策、経済危機対策として考えられていると聞いている。高校生という特殊なことを考えると、市内に限定することでも難しいという観点から国・県の動向を注視したい。当市の奨学金制度は、入学を前提としており、貸与条例施行規則等を活用するのが非常に難しいので、検討するという答弁しかできない。

表彰式終了後の祝賀会のあり方について見直しを！

○表彰条例による表彰式○国の経済対策事業○行政組織の再編



今井 章也 議員

表彰式終了後の祝賀会のあり方を見直せないか

今井 2月14日に行われた平川市表彰式では、小中学生が例年に比べ大変多く受賞した。子供たちが東北大会、全国大会と成績を残すには、保護者のサポートが絶対に必要である。「会費を払っていいから子供たちと一



今年2月14日に行われた市表彰式では、多くの児童・生徒が受賞している。

更に受賞を喜びたい。」という声もあるので、表彰式終了後の祝賀会の見直しを検討できないか。教育長 祝賀会において子供たちの努力と研鑽をお祝いしたいという気持ちは強く持っている。どのような形で実現するかという方法は、考えさせていただきたい。

国の「経済危機対策」で介護施設に

今井 平川市の入居できる介護施設は満所状態で、待機者がかかりいる。これを機会に、小規模施設でもいいから、積極的に介護行政を進めてほしいと思うが、見解を示せ。

市長 国の第4期計画（平成21～23年度）で、4万人を上乗せした16万人を目標にして、全国規模で実施される施設をつくつても、第4期の変更は必要ないが、

集会施設建築等の補助金について見直しを！

○集会施設○平賀農村環境改善センター○市営住宅管理条例



工藤 竹雄 議員

集会施設の指定管理者に、今後も委託料を支払うべきではないか

工藤 町会の財源は、会費と使用料が主であるが、使用料が激減しており積極的に運営することができない。



平成20年度に舗装工事を行った柏木町コミュニティセンター。

委員連絡会議で、最近の不況により、町会費の値上げも難しく、急に策を立てるのも困難だという意見から3年間で施設の管理費や町会の運営費を検討し、自主活動を立て直してほしいという目的で助成金を交付する。

集会施設建築等の補助金の補助率について

工藤 平川市の統一基準が作成されたが、町会負担の増である。補助率改正を検討する価値があるのではないか。

総務部長 3町村の取り扱いの違いを段階的に見直し、現在は市統一基準で行っている。平成20年度も2町会が運用しているの、補助率見直しは考えていない。

平賀農村環境改善センターの修繕について

工藤 修繕されないままの状態が継続している。畳なども早急に修繕しなければならぬと思うが、見解を示せ。

市長 畳は9年くらい経過している。畳だけでなく、屋根も予算要求されたが、協議の結果7月の「経済危機対策」で予算措置をすることになった。その他、現在は修繕が終了している。

当市ゆかりの美術家作品を尾上分庁舎3階に展示し地域の活性化を！

○遊休施設（平川病院跡地）の利用○尾上総合支所・分庁舎3階の活用



山口 昇 議員

索しているが、正式に買い取りたい人は、まだいない。もう少し時間をかけたい。

山口 当市の遺跡からの出土品や、旧3町村の収蔵庫にねむっている民具・農具・古文書等の文化遺産もたくさんあるので、それらを合わせてふるさと資料館として展示できないか。

山口 病院廃止の際、跡地の売却の話もあったが、現状はどうなっているのか。

市長 あくまでも平川病院跡地は、福祉施設として活用すべきであろうと考えている。



以前から、活用が期待されている尾上総合支所・分庁舎。

資料館にたくさんある物について、今、展示する物としない物に仕分けをしている。基本的には、尾上分庁舎を美術館のような観光の拠点館、観光地域にしたいと思っている。

尾上総合支所・分庁舎3階を美術館として活用できないか

山口 名誉市民、葛西四雄画家を始め、当市ゆかりの画家、彫刻家、陶芸家など、世界に名をさせた美術家が多数。その有名な美術家の作品を展示するには、尾上分庁舎は防犯、防災・警備には最適な建物であると思う。その周辺には、国指定名勝「盛美園」、「清藤氏書院庭園」のほか「さるか公園」、「ロマン館」もあり、地域の活性化につながると思うが、考え方を示せ。

市長 賛同いたします。議論が煮詰まれば、7月の経済危機対策議会に、予算化したいと思っているので、ぜひ御協力、御理解を願う。

山口 建物というのは、使わなければ痛んでしまう。経済危機対策で、あまりお金をかけないで、使う方法を考えていただきたい。

就学前児童の医療費完全無料化実施を！

○就学前児童の医療費無料化○辺地校の現状と今後



齋藤 剛 議員

就学前児童の医療費完全無料化実施について

齋藤 長期総合プランで人口3万5000人を維持することがうたわれているが1年間に300人くらいずつ減少しているので、このままいけば約10年後には3万人を切るのではないかとという単純計算になる。青少年が生き生き



平川市学校再編検討委員会では「小学校は東部地区内で1校に統合、中学校はともに平賀東中学校に統合」との答申が出されているが…。（写真：小国小中学校）

と仕事をして、いつまでも健康な市でいてほしいので、将来を見据えた思い切った施策をする時ではないか。

市長 ぜひやりたいと思うが、約1500万円増となるので、今の段階では実施するとは言えない。第3子に対する助成を上げたいて考えている。保護者の負担を試算し、来年度の予算編成に向け会議を開き、前向きに検討していく。

小国・葛川小中学校の今後について

齋藤 今年度小国中学校に入学予定者だった生徒は、東中学校に入学し、小国小学校に入学予定の1年生も小和森と松崎小学校に入学した。

教育委員会の方針が、地域を尊重するあまりに結論がでないまま時間が過ぎ、子

供が、どの学校に行きたいのか不安な状況である。ある程度の指針を早期に示してほしい。

教育委員会事務局長 今年になつて、両地区の方も入った平川市学校再編検討委員会を立ち上げ、現在議論を続けている。年度内には教育委員会の計画案を作成し、議会の同意を得ながら、保護者、地域住民との学校再編への理解と協力を願いつつ前進していきたい。人数が何人以下になったら強制的な決断をするということではなく、歴史のある学校なので、東部地区が一体となつて、子供の教育を第一に考えていきたい。児童・生徒の減少をもつて、学校・学区の再編をするということは考えていない。

齋藤 子供たちの進路を早めに明確にし、夢と希望を与えて、勉学にスポーツにいそむよう指導願いたい。

高齢者専用共同住宅建設で、地域ぐるみの支え合いを！

○介護人口増加○介護報酬改定と高齢者対策○平川市高齢者保健福祉計画



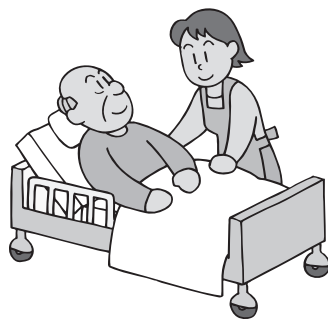
小野 敬子 議員

介護人口増加に伴う
行政の対応について

小野 ①平成23年度に廃止されるといわれる療養型病床の延長はできないか。できない場合、小規模多機能施設の活用について。②要介護認定に係る新たな基準、介護報酬改定により事業者、利用者など現場にどのような変化があるのか。

市民生活部長

これは国の方針であり、特にこれにかわる施設整備は考えていない。介護保険計



画第4期では、老人保健

施設の分にプラスしてカウントし、サービス提供を行う計画である。数箇所の介護支援専門員に聞き取りしたが、現在のところ介護度に応じたサービスの利用が、今回の改正によって減ったという事実はないということであった。サービス提供の事業者の現場には、特に混乱があるとは聞いていない。

平川市高齢者保健福祉計画への誘導策について

小野 公設民営の高齢者専用の共同住宅を行政区単位で建設することは、「地域ぐるみ」での支え

○行政経費の削減

市管理の施設について早期見直しで方針を示し、住民サービス向上へ！



齋藤 政子 議員

公共施設の管理面から行政経費の削減について

齋藤 ①市の施設で指定管理者制度に移行した施設数はいくらか。②指定管理者制度に移行した施設管理費はどれくらい経費削減があったか。③また、職員の異動は。④今後の方向性について、存



まだ指定管理者制度に移行されていない滝の沢ふれあい館。今年度が指定管理に向けての検討年度となっている。

続、廃止、見直しなどの考え方を示せ。

市長 公の施設は現在184件。このうち指定管理者制度導入施設は、平成21年3月現在で91施設。集会所43件、公園17件、社会福祉施設16件、観光施設5件、農業施設5件、教育施設3件、その他2件である。総務課の試算によると、平成19年度で269万6000円、平成20年度で471万6000円、合わせて741万2000円である。行政改革の中で、現在市有財産のあり方について、職員で検討

会議をつくり、部長会議等で協議しながら、広く住民の声、利用者の声を聞いて、その上で判断しながら、指定管理の方に、または委託の方へと進めていかなければならない。これ

からも見直しをしていく。

総務部長 指定管理者制度移行による職員の異動は、平成20年度もなし口マン館1名、平成21年度さるか荘3名、そのうち2名は期限付臨時職員である。

齋藤 経費の削減について、割と少ない感がある。一番の減額の主な理由は、職員の人件費ではないのか。

総務部長 人件費が一番大きい。当市では、まだ人件費の張り付いている施設で指定管理者制度に移行したものは、2カ所しかない。あとの施設については、ほとんど物件費である。これから人が張り付いている施設が指定管理者等に移行した場合、大きな削減があらわれてくるのではないかと考えている。

齋藤 問題点、見直す点などいろいろあると思うので、住民を巻き込んで、市民に雇用と活力の場を与えてほしい。

平成21年

第3回臨時会

平川市緊急経済対策
原案可決！

【歳出予算の内容】

◆くらしの安全・安心◆

7億5,685万5,000円

	事業名	事業費
1	光回線敷設整備事業 平賀東部地区、碓ヶ関地域に光回線を整備し、未提供地域の解消を図る[企画財政課]	3億313万5,000円
2	市道、用排水路等整備事業 市道、側溝、用排水路等の整備。調査設計、工事請負費等[土木課・農林課]	2億6,659万5,000円
3	平賀地区商店街街路灯整備事業 昭和52年設置の街路灯を撤去し、省エネタイプの街路灯を設置[商工観光課]	3,054万9,000円
4	平賀体育館改修事業 体育館屋根塗装、暗幕改修、床改修、設計監理[総合運動施設]	2,696万5,000円
5	平賀農村環境改善センター改修事業 屋根のふき替え改修、畳入替え、カーペット張替え（1階）、設計監理[農林課]	1,780万6,000円
6	猿賀公園外灯改修事業 猿賀公園外灯建替え[都市計画課]	1,000万円
7	地上デジタルテレビ整備事業 公共施設の地上デジタルテレビの買い替え等[総務課・中央公民館]	1,063万1,000円
8	融雪溝基本計画策定事業 融雪溝整備のための水源調査、導水路線調査[土木課]	1,040万6,000円
ほか旧碓ヶ関御閑所等解体撤去事業、公園フェンス改修事業、消防本部備品整備事業		

◆雇用・生活支援◆

1億1,473万円

	事業名	事業費
1	緊急雇用奨励金（市独自） 市内事業者（農家を含む）が事業実施期間内に、市民を新規雇用した場合に奨励金を交付する[企画財政課]	3,000万円
2	雇用調整交付金（市独自） 国の雇用調整助成金制度を活用している市内の事業主に対し、助成されなかった額の2分の1を助成する[企画財政課]	1,245万7,000円
3	環境美化活動推進事業（市独自） 環境美化活動を図るため、各町会に対し補助金を交付する[総務課]	4,118万3,000円
4	緊急雇用創出事業（県補助） 12事業で38人の臨時職員を雇用する（雇用期間は1～6ヵ月間）[企画財政課]	3,109万円

◆地球温暖化対策、農業・観光振興◆

4億8,666万円

	事業名	事業費
1	太陽光発電設備設置事業 全小中学校への太陽光発電システム導入、設計監理[学校教育課]	4億2,359万円
2	農産物直売所増築事業 産直センターひらかの増築に対して補助金を交付する[農林課]	5,000万円
ほかエコカー導入事業、物産販路開拓事業		

◆学校教育環境充実◆

1億4,580万4,000円

	事業名	事業費
1	地上デジタル放送対応事業 学校の地上デジタルテレビへの買い替え等（全小中学校）	7,135万8,000円
2	理科備品整備事業 理科備品の購入（全小中学校）[学校教育課]	1,600万円
3	校舎・体育館屋根塗装事業 柏木小体育館、竹館小学校舎・体育館屋根塗装工事[学校教育課]	2,290万円
4	陸上トラック整備事業 平賀東小、平賀西中陸上トラック整備[学校教育課]	1,133万3,000円
ほかスクールセット整備事業（8校）、楽器整備事業（3校）、放送設備改修事業（3校）		

※詳細は担当課にお問合せください。

一般会計補正予算

総額15億399万円を追加して総額1億1,200万円に！！

国の経済危機対策関連事業を中心に、緊急的な要因に限定し「平川市緊急経済対策」予算として編成し、市の経済対策を図るため、7月17日に第3回臨時会が招集されました。

条例改正案1件、財産の取得について1件と一般会計補正予算案及び下水道事業会計補正予算案の4件が上程され、全会一致で可決となりました（議決一覧表6ページ参照）。

悪化する雇用情勢をくい止めようと、雇用・生活支援対策には、積極的に市単独の予算が盛り込まれました。また、以前から要望のあった町会への補助金や、市道、側溝、用排水の整備に重点を置いた予算となっています。

任期満了に伴い

第4回臨時会

常任委員・議会運営委員などを改選



総務企画常任委員会



建設経済常任委員会



教育民生常任委員会

■所管する事項■
庶務、財務、税務、企画調査、消防、他の委員会に属しない事項。
○委員長 古川 昭二

■所管する事項■
土木、建築、産業経済、土地改良、商工観光、水道、下水道など。
○委員長 齋藤 政子

■所管する事項■
教育、民生、保健衛生、国民健康保険、介護保険など。
○委員長 佐々木利正

総務企画
常任委員会建設経済
常任委員会教育民生
常任委員会

平成21年第4回議会臨時会は、8月3日に招集され、平川市監査委員の選任について1件が同意されました。（5ページ参照）
任期満了に伴う常任委員及び議会運営委員、広報特別委員の選任が議会に諮られ、各委員会の委員が決定となりました。また、議会図書室運営委員は、広報特別委員が兼ねることとなりました。各委員会の組織会が開かれ、委員長、副委員長長の互選が行われました。

委員一覧表

総務企画常任委員会 8名					
委員長	古川 昭二	副委員長	小野 長道		
委員	小野 忠男	成田 敏昭	田中 友彦	今井 章也	対馬 實 工藤 竹雄
建設経済常任委員会 7名					
委員長	齋藤 政子	副委員長	小野 敬子		
委員	古川 敏夫	小笠原勝則	木村 兼由	齋藤 剛	山口 昇
教育民生常任委員会 8名					
委員長	佐々木 利正	副委員長	齋藤 正明		
委員	小田桐信勝	福土恵美子	佐藤 雄	齋藤 律子	葛西 清仁 大川 登
議会運営委員会 6名					
委員長	対馬 實	副委員長	工藤 竹雄		
委員	小田桐信勝	古川 敏夫	田中 友彦	齋藤 剛	-
議会広報特別委員会（兼図書室運営委員会） 6名					
委員長	小野 長道	副委員長	大川 登		
委員	古川 昭二	齋藤 政子	対馬 實	佐々木利正	-

議会
委員会
運営議会
広報
特別委員会

議会を効率的に運営するため、議会運営全般について協議します。
当市は、各会派から選出された委員で構成されています。

（兼議会図書室運営委員会）
年4回発行される「ひらかわ議会だより」の編集を行います。
（図書室の運営について協議します。）
○委員長 小野 長道

もっと知って 議会GIKAI

vol. 4

4. 会議を見学するには？～ぼうちょう傍聴～

もっと議会を身近に知っていただくために、5回シリーズで「もっと知って議会GIKAI」を掲載しています。今回は第4回目です。

※小学生が読める文章にしています。

市議会で行われている本会議や委員会では、どのようなことが話し合われ、行われているか、実際の会議の様子（ようす）を見たり、聞いたりすることができます。これを傍聴（ぼうちょう）といいます。

規則（きそく）で定員（ていいん）が決められていて、平川市の定員は、本会議一般席は34人、報道員席は8人で、計42人（先着順）まで傍聴することができます。

傍聴するには：議会の日程を確認します。（市のホームページ、または事務局へ電話で確認してください。）

会議の開始時間は午前10時からです。その前に、本庁舎5階の議会事務局で受け付けをして、「傍聴席」に入場します。※「議場」には入れません。

●市民と市議会

市役所では、市議会で決まったことをもとにして、仕事を進めていきます。その費用（ひよう）は、市民が納（おさ）めた税金（ぜいきん）や、国や県の補助金（ほじょきん）などが使われます。

どの仕事も市民の暮（く）らしにつながるのがあることばかりですから、こうしてほしいという希望（きぼう）があれば、議員を通じて市議会に意見を言うことができます。（請願（せいがん）

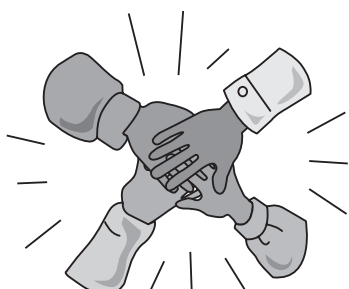
・陳情（ちんじょう）など）※陳情・請願は次回（vol. 5）でお知らせします。

市民の希望がかなえられるよう、市の仕事をよく見守っていくことが大切（たいせつ）です。

議会を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話（0172）44－1111（内線 1511）



次回の

「もっと知って 議会GIKAI」
の内容は……

「請願・陳情」
VOL.5です!!
次回が最終回と
なります。

議員研修視察 報告

兵庫県

【期間】平成21年7月1日(水)～3日(金)

子育て対策

たつの市

加西市

バイオマスタウン



●目的

産みやすく子育てしやすい環境づくりとして、少子化対策の取り組みについて先進地を視察する。

●目的

バイオマスタウン構想に向けて先進地を視察し、当市の未利用バイオマスの参考とする。

議員研修視察を終えて

※順不同。内容は、抜粋・要約して掲載しています。

平成17年11月に地域住民の協力を得ながら、地域でやれること、地域の環境を守るため、加西市発減C

加西市
(1)バイオマス
タウン構想の
利活用、(2)食
品バイオマス
の飼料化、(3)
廃食用油のB
DF(バイオ
ディーゼル燃
料)

●研修視察内容・感想

●随行者
議事事務局次長補佐 相馬正治、総務係長 小山内宏子
(計2名)

●参加議員

小田桐信勝 佐藤 雄
古川 昭二、田中 友彦、
小笠原勝則、木村 兼由、
齋藤 律子、齋藤 政子、
合井 章也、葛西 清仁、
齋藤 正明、對馬 實、
山口 昇、工藤 竹雄、
佐々木利正、小野 長道
(計16名)



バイオ燃料で走るレールバス
(加西市ホームページより)

廃食用油が主で、これは行政が主導で行うものなのか疑問に感じた。廃食用油の利用はすでに民間で行っており商売をしている。稲わらや、もみ殻、リンゴの剪定枝などを期

CO₂(げんこつ)プロジェクトが計画された。住民の自主性を尊重し、行政・市民・企業の三者連携による事業の推進の結果、回収事業も順調に進み、燃料の供給も石油業者を通じて行われ、現在広域行政の工口車両の燃料として供給されている。地元のレールバスにバイオ燃料として活用されて、市民の喝采を受けている。
地域住民と行政、民間企業が連携して立ち上げれば実績はおのずと出てくる。以上のことは、平川市にも当てはまることだと思う。



加西市にて、モニターを見ながらの研修

待っていたのですが…。
バイオマス利活用計画として①エコフィード事業、②廃食用油リサイクル事業、③木質バイオマス事業、④バイオガスシステム、⑤家畜糞尿の堆肥化の5項目あり、その中で目的の優先度によって、事業の評価、判断基準を決めている。
また、放牧竹園や山林を活用して竹炭や薪を生産している。この環境保全を「かぐや姫プロジェクト」と名づけ、市民、行政、企業が連携してCO₂削減に取り組んでいた。プロジェクトによるCO₂削減量は230トン。
バイオ燃料でCO₂削減量189トン廃食用油活用はガソリン税、竹炭・薪は、需要のバランスが検討課題として残っていた。

たつの市

- (1)子育て祝金支給事業
- (2)乳幼児医療費助成制度
- (3)その他少子化対策

第3子以降に支給されていた小中学校入学時の入学祝金は、平成21年4月に廃止されていた。

市には、小児科がないが、乳幼児等医療費は受給者証を発行し、窓口での負担はなく、現物給付となっている。対象は、小学校3年生まで拡大されており、就学前は外来入院とも自己負担なし。平成19年7月から今年の6月まで、市独自で行っていた。平成21年7月からは就学後の外来、入院の保護者負担は増額されたばかりで、財政上の苦悩の声を職員から聞くこととなった。

いずれにせよ乳幼児医療費は、思い切った対策として「国の制度として位置づけること。自治体として行うことには限界がある。」ということを経験した。

限られた予算内で、十分とは言えないものの、当市の方がよくやっている印象を受けた。

生まれた子供たちへの支援だけが少子化対策ではないと思った。もっと根本的な社会的な男と女の関係改善が必要である。当市の子供たちには、男と女の義務と権利について、きちんと伝えられる教育環境を整えていくべきと感じた。

たつの市において、妊娠時から子育てまで一貫した支援策を進め、少子化対策を講じているが、財政上の問題で大きく変わろうとしている。

児童福祉課長の個人的な意見として、子供は家庭で育てるべきであり、国の流れの中では保育の充実、不安解消といった行政がかかわるものも必要であるが、子育てというのは、三世代同居や、近所づき合いの中で育てるのも大事だろうという言葉が印象的であった。



たつの市での研修

北海道

【期間】平成21年7月8日(水)～11日(土)

参加議員

成田 敏昭、福士恵美子、齋藤 剛、小野 敬子、大川 登、(計5名)

医療法人夕張希望の杜
夕張医療センター
超高齢社会における医療とまちづくりについて

目的

夕張医療センターを開業し、センター長として地域医療の再生を目指す。予防医療の必要性を訴える村上智彦医師の講話を聞き、本市に普及、浸透させる。

研修視察内容・感想

昭和57年夕張成鉦病院を市が買収し開設した夕張総合病院は、平成19年指定管理者制度導入により夕張医療センターとなる。現在、病床19床、内科、小児科、心療内科、整形外科、リハビリテーション科、歯科、眼科で地域医療の再生を目指している。

病院の経営のみを考えるとなく、地域の医療費削減のため訪問診療や予防医療を進めている。



夕張医療センターにて、村上医師の講話を聞く

やる気のある職員だけが残った。電話ひとつとっても非常に職員の対応がよかった。

医療というよりも、「まちづくり」をしにきたと言う村上医師。患者側も権利ばかり主張するのではなく、自分たちが健康づくりをやれば良いという意識を持ちはじめ、住民は破綻を受け入れ、想像以上に気付いてくれたという。

仕組みを変えないと破綻するというのは、現在のすべての機関、行政を含め組織に言えることではないだろうか。そして、それには勇気が必要である。

医療センターの経営を

考え、やる気のある高齢者を大いに活用していることと、医療センターは、定年のない職場になった。年金をもらいながら元気に働いているので、医療費の削減にもつながっている。

「政治に関わる立場として、地域のために自分ができること、世の中を変え、市民の幸せを考えてやるのが仕事のはず。頑張ってください。」と話を聞かれ、感動の研修でした。

高齢者の医療費削減のために健診を高める運動をし、肺炎ワクチンの助成を呼びかけていかなければならない。

美瑛町

「美しい村」連合と観光行政について

目的

日本一美しい景観を、観光と商業の中心に与え、地域の活性化を図っている美瑛町から本市のすばらしい景観を生かした地域づくりの参考とする。



折笠農場の折笠社長宅にて

●研修視察内容・感想

人口1万1000人、面積667・16平方キロメートル。全体の約7割が山林でその多くが十勝岳を主峰とする大雪山国立公園で、山麓に連なる波状丘陵農耕地が2割である。輪作形態による結果として、季節ごとに丘の畑を彩るパノラマ景観の農業そのものが大きな観光資源となっている。

「フランスで最も美しい村」協会の情報から、2005年10月に「日本で最も美しい村」連合を設立。美瑛町が中心となり、7つの村からスタートし、2008年10月には17町村1地域が加入した。

ており、NPO法人「日本でも最も美しい村」連合サポーター企業は現在37社にのぼる。

すばらしい地域資源を持ちながら過疎にある町や村が「日本で最も美しい村」宣言をすることで、みずからの地域にほこりを持ち、将来にわたって美しい地域づくりを行うこと等を目的に設立された。

地域住民の郷土愛、地域を守る情熱から始まったもので、ヨーロッパから発信されたさまざまな運動の一つであることがわかった。小さな村の郷土愛とほこりを持った生き方を学んだ。自分たちの郷土をもつ一度見直し、考えさせられる研修となった。

折笠農場

地球を守り、修復する農業について

●目的

自然栽培で経営を成り立たせている農場を見学し知り得た情報を広く市民に伝える。

●研修視察内容・感想

折笠農場社長の折笠秀

勝氏は、40年以上も前に「土と水と食を考へる会」を立ち上げ、低農薬有機栽培を実践したパイオニアである。地域の中で孤立しながらも信念を貫く強靱な精神は、現在無肥料無農薬の自然栽培を実践している。

「有機だから安心」というのは、ごまかしに過ぎず、無肥料栽培こそが生命を守る源だということを実感する。自然農法は有機を一切いれず、草を自然乾燥し、土にすきこみ「緑肥」とした農法であるが、「奇跡のりんご」で知られる木村秋則氏のアドバイスもかなりあったようで、当市の農業行政に取り入れる必要性があるのではないかと。

作業の効率ではなく、安全で安心して食べられるものが、本来の食べ物であるという考えを貫いた折笠さん。木村秋則氏の指導により、この栽培方法が全国に広まりつつある。言うまでもなく、地球環境を守ることにもつながる。少しずつでも広めていきたい。

調査報告

平成21年7月27日(月)実施

●参加議員(計7名)

齋藤 正明、葛西 清仁、小田桐信勝、成田 敏昭、小笠原勝則、今井 章也、山口 昇

●出席職員(計4名)

議会議務局局長 木村雅彦、主幹兼議事係長 清藤 哲彦、葛川支所長 對馬松男、JA津軽みらい平賀園芸センター職員

●目的

公共施設等の管理・利用状況を調査

●調査施設(5施設)

葛川診療所、葛川保育所、平賀育苗施設、平賀農産物集出荷施設、滝の沢ふれあい館



葛川支所長より待合室で患者さんと一緒に説明を受けました。

●調査結果

施設名称	建築年度	のべ床面積㎡	敷地面積㎡	構造	利用状況	管理状況	備考
平賀育苗施設	11	2,590	19,983	鉄骨	年々減少	指定管理者：JA津軽みらい(H18.9～H23.3)	農業従事者の高齢化、後継者問題、価格の低迷等の問題から利用者が減少している。
平賀農産物集出荷施設	10	1,422		鉄骨			
葛川保育所	元	505	5,746	木造2階建て	入所児童4人(H21年度)	直営	昨年度の屋根塗装、外壁改修により、構造的には問題がないが、入所児童が年々減少。ニーズがある限り存続を期待する。
葛川診療所	元	2,317	3,530	木造一部2階建て	年間利用者3,650人(H19)	直営	建物は、保育所同様改修を行っているが、設備機器類が劣化している。更新の必要あり。
滝の沢ふれあい館	5	2,620 (休憩所)		木造平屋建て	4,748人(H20)	管理委託者：平賀市物産協会	建物の劣化は若干あるが、特に問題はない。入込客数の減少や水の確保の問題等もあり、今後は存続について問題が出そうである。

* 議会の動き *

平成21年
3月1日

平成20年度青森県立尾上総合高等学校卒業証書授与式に議長出席
平川市民芸能発表会に議長出席
平成20年度青森県立柏木農業高等学校卒業証書授与式に副議長出席
議会広報特別委員会
平川市名誉市民顕彰式に議長出席
青森県農業経営士(岩淵弘孝氏、今井龍美氏) 認定記念祝賀会に議長ほか出席
緑青園1・2・3月期誕生会&ボランティア感謝と交流のつどいに議長ほか出席
平成20年度平川市連合婦人会ほか総会に議長出席
特定非営利活動法人平川市体育協会設立祝賀会に議長ほか出席
平成20年度黒石記者クラブ歓送迎会に議長出席(黒石市)
平川市連合消防団出初式に議長ほか出席
平川市議会常任委員会書記辞令交付式に議長出席
青森市議会正・副議長就任挨拶のため来庁(議長、副議長対応)
平川市消防団の組織再編に伴う辞令交付式に副議長出席
平成21年春の全国交通安全運動早期街頭指導に議長出席
平成21年度平川市観光協会総会に議長出席
第4回平川市文化協会総会及び懇親会に議長出席
平成20年度ねぶた運行実行委員会定時総会及び懇親会に議長出席
第3回平川市交通安全母の会総会に議長出席
(株)アップランド南田温泉平成20年度ふるさと企業大賞(総務大臣賞)受賞記念祝賀会に議長ほか出席
平成20年度国道7号整備促進期成同盟会監査に議長出席
第61回東北市議会議長会定期総会に議長、事務局長出席(盛岡市)
平成20年度平川市老人クラブ連合会総会に議長出席
第3回平川市子ども会育成協議会定時総会及び懇親会に議長出席
平川市身体障害者福祉会総会に議長出席
第4回平川市読書推進運動協議会総会及び懇親会に教育民生常任委員長出席

5月9日

平川市納税貯蓄組合連合会総会に議長出席
自衛隊協力会津軽地区連絡協議会「吉田連隊長を囲む夕べ」に議長出席(弘前市)
第28回おのえ花と植木まつりに議長ほか出席
志賀坊山野草まつり2009に議長ほか出席
弘前駐屯地創立41年記念日行事に議長出席(弘前市)
青森県市議会議長会事務局長会議に事務局長出席(青森市)
平成20年度平川市遺族会総会に議長出席
平成21年度青少年育成平川市民会議総会に議長ほか出席
楽天野球団との球場命名契約締結式に議長ほか出席
平成21年度平川市連合PTA定期総会に教育民生常任委員長出席
第5回「地方の元気回復対話交流会」に議長出席(青森市)
南九州市議会文教厚生常任委員会視察研修及び懇親会に副議長、事務局長ほか出席
平成21年度青森県市議会議長会第1回定期総会に議長、事務局長出席(つがる市)
議会広報特別委員会
白岩まつり2009開会式に議長ほか出席
平川市交通安全協会定時総会に議長出席
平成21年度尾上町商工会通常総会に副議長出席
平成21年度青森県鉄道整備促進期成会総会、平成21年度新幹線建設促進期成会総会に議長出席(青森市)
青森県選出国会議員との懇談会及び第85回全国市議会議長会定期総会に議長、事務局長出席(東京都)
平成21年度平川市明るい選挙推進協議会総会に副議長出席
平成21年度平川市建設協会通常総会に副議長出席
第2回平川市議会臨時会
第32回黒石警察友の会通常総会に議長出席(黒石市)
平成20年度特定非営利活動法人平川市体育協会総会に議長ほか出席
平川市国際交流中学生ホームステイさよならパーティーに議長出席

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

請願書(陳情書)はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。

提出年月日、請願(陳情)者の住所、氏名(法人の場合は、その名称及び代表者氏名)を書いて必ず押印してください。

請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。

紹介議員が付かないときは陳情書としてください。

道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長(氏名) 殿

請願(陳情)者 住所 氏名 印

紹介議員 氏名 印

〇〇〇〇〇に関する請願(陳情)書

【請願(陳情)の要旨】

【理由】

新編集委員でスタート!!



8月3日の改選により、議会広報編集委員が新たになりました。

市民の皆様と議会を結ぶパイプラインとして、わかりやすく読みやすい広報を目指し、頑張っていますので、今後とも御愛読よろしくお願いたします。

皆様の声をお聞かせください。

- 議会全般に関すること。
- 議会広報について、ご意見・ご感想等ございましたら、お気軽に議会事務局までお寄せください。